

2025.11.11 社会学 (田中重人)

第5講「権力と支配」

1. 前回の復習 (+補足)
2. 前回宿題について
3. 権力と支配
4. 支配の正当性
5. 中間試験について

【前回の復習】

- 国家とは
- 国家の不安定性
- ナショナリズム

【社会運動】

social movement

人びとがある共通の利益や価値，目標の
実現を求めて集合的に行動すること

教科書 p. 215

→ 社会の仕組みを変えるための仕組み
(2次ルール) が重要

【国民国家と戦争】

- 内集団 vs. 外集団 (教科書 p. 59, 68)
- 国家を超える「国家」の不在

→戦争の違法化と国際連盟・国際連合

【前回の宿題】

課題 5: 権力と支配

ヴェーバーの議論によれば、「権力を持つ」ことと「支配する」こととの間にはどのようなちがいがあるか。教科書 202-203 ページを参考にして、説明せよ。

ヴェーバーによる定義：

権力：或る社会的関係の内部で **抵抗を排して**
まで自己の意思を貫徹するすべての可能性

支配：或る内容の命令を下した場合，
特定の人びとの **服従** が得られる可能性

教科書 p. 202

【支配の類型】

服従の理由：

- 制裁
- 利益誘導
- 正当性 (合法的、伝統的、カリスマ的)

↑
2 次ルール

教科書 p. 203

革新性：カリスマ的 > 合法的 > 伝統的

安定性：伝統的 > 合法的 > カリスマ的

【中間試験】

来週授業時間に実施

教室でのみ受験可

電子機器以外の持込・参照可

範囲は今日の授業内容まで